

DPCについて

DPCとは何か？

「DPC(Diagnosis Procedure Combination)」とは、

- 平成15年4月に特定機能病院等に導入された
- 急性期入院医療の
- 診断群分類に基づく
- 1日当りの包括評価制度

✓もともとは、「診断群分類」を意味する英語の固有名詞として使用

DPC制度の対象病院

- DPC対象病院(DPCによる支払の対象)
 - 平成15年 ~ 82病院
(特定機能病院等)
 - 平成16年 ~ 62病院
 - 平成18年 ~ 216病院
 - 平成20年 ~ 358病院
 - 計 718病院
- DPC準備病院(DPCによる支払の対象外)
710病院

DPCにおける診療報酬の算定方法

- 包括評価制度における診療報酬の額

診療報酬 = 包括評価部分 + 出来高評価部分

- 包括評価部分

- ✓ 入院基本料、検査(一部を除く)、投薬、注射、等

- ✓ 「診断群分類」毎の1日当たりの包括評価

- ✓ 医療機関別係数による評価・調整

包括範囲点数

= 診断群分類毎の1日当たり点数 × 医療機関別係数 × 在院日数

- 出来高評価部分

- ✓ 手術料、麻酔料、等

- ✓ 「医科点数表」に基づいた評価

医療機関別係数について

医療機関別係数は、機能評価係数と調整係数から構成されている。

$$\text{医療機関別係数} = \text{機能評価係数} + \text{調整係数}$$

○ 機能評価係数

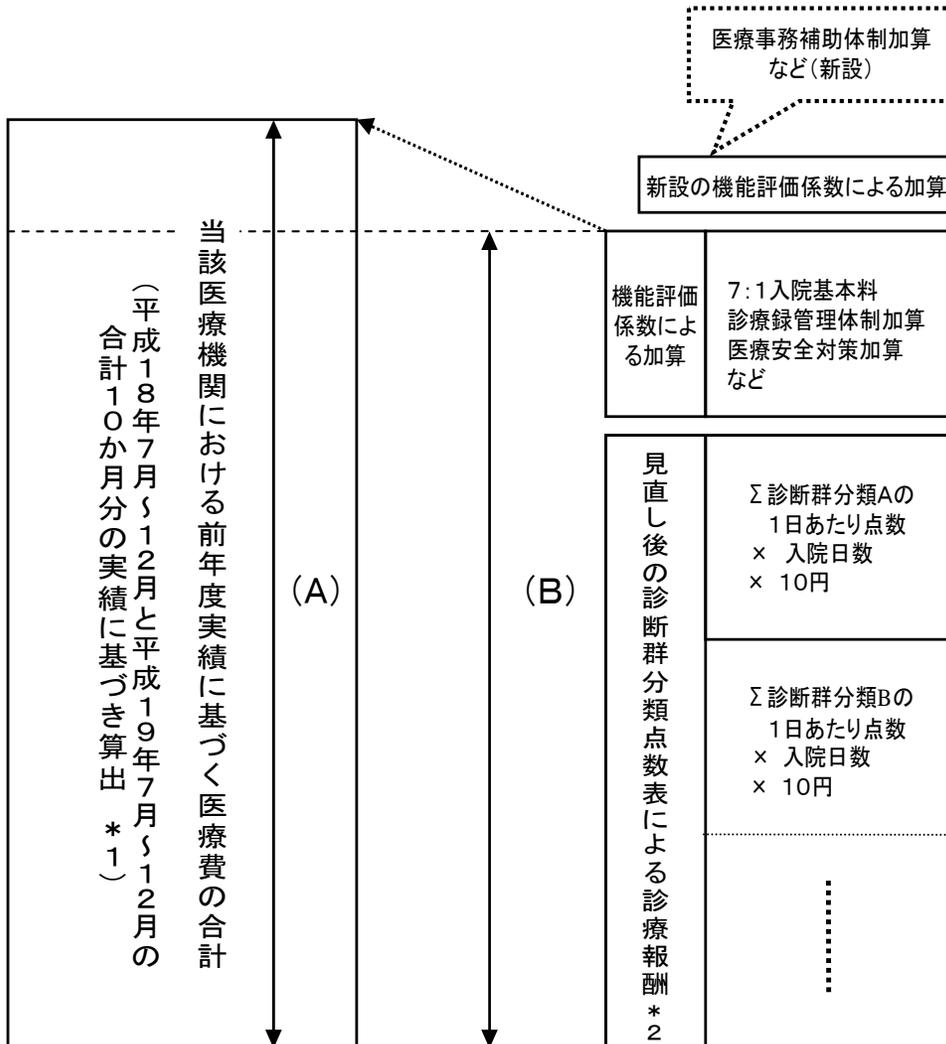
◇ 医療機関の機能を評価するための係数であり、入院基本料等加算等を係数にしたものである。

- ・ 入院時医学管理加算 0.0299
- ・ 医療安全対策加算 0.0015
- ・ 地域医療支援病院入院診療加算 0.0321 等

○ 調整係数

◇ 医療機関の前年度実績を担保するための調整係数であり、診断群分類による包括評価に係る医療費が平成18年7月～12月と平成19年7月～10月の医療費の実績に平成20年度診療報酬改定を一部反映させたものと等しくなるように、医療機関ごとに設定されている。

医療機関別係数の計算方法について



$$\text{前年度の医療費の実績に基づき設定する医療機関別係数} = (A) \times (1 + \text{改定率}) / (B)$$

$$\text{医療機関別係数} = \text{調整係数} + \text{機能評価係数}$$

- *1 前年度実績に基づく医療費の合計には、平成20年度診療報酬改定が一部反映されたものとなっている。
- *2 見直し後の診断群分類による診療報酬については、当該医療機関における平成18年7月～12月と平成19年7月～10月の入院実績に基づき算出している。

DPCデータについて

DPCデータとは何か

- 分析可能な全国統一形式の**患者臨床情報**
+ **診療行為**の電子データセット
- 患者臨床情報
 - 患者基本情報
 - 病名、術式、各種のスコア・ステージ分類
- 診療行為情報
 - 診療行為、医薬品、医療材料
 - 実施日、回数・数量
 - 診療科、病棟、保険種別

DPCデータから何が分かるか

- 患者の臨床情報
 - 全国共通の「簡易退院サマリ」
- 「いつ」「何を」「どれ程」行ったか
 - (誰がオーダ、どの診療科・病棟の)
- 診療行為を時系列で把握
 - レセプト情報から自動的、電子化
- 診療プロセスの可視化
 - 平均像とバラツキ

基本となるDPCデータ

様式1	患者の臨床情報、傷病名、術式、補助治療等 退院ごとに作成(DPCコードはない)
Eファイル	出来高点数の情報 実施日、回数、診療科、病棟、オーダ医師
Fファイル	Eファイルの詳細な内容(包括分も含む) 行為、薬剤、材料、数量

様式1 (イメージ)

データ 識別番号	入院 年月日	退院 年月日	医療資源 病名	ICD10	化学療法 の有無
0100000001	20080701	20080710	腎盂癌	C65	1
0100000002	20080701	20080715	卵巣癌	C56	1
0100000003	20080702	20080709	子宮肉腫	C542	0
0100000004	20080702	20080710	B型慢性肝炎	B182	0
0100000005	20080702	20080720	S状結腸癌	C187	1
0100000006	20080703	20080711	総胆管結石	K805	0
0100000007	20080704	20080712	C型慢性肝炎	B182	0
0100000008	20080706	20080716	肝細胞癌	C220	1
:	:	:	:	:	:

Eファイル、Fファイル(イメージ)

Eファイル

データ識別番号	退院年月日	入院年月日	データ区分	診療行為名称	行為点数
0000000010	20080710	20080720	33	ソリタT3号 500ml	483点

Fファイル

データ識別番号	退院年月日	入院年月日	データ区分	診療行為名称	使用量	薬剤料
0000000010	20080710	20080720	33	ソリタT3号 500ml	2瓶	390円
0000000010	20080710	20080720	33	チェナム点滴用500mgキット	2キット	4300円
0000000010	20080710	20080720	33	ビタメジン静注用	1瓶	140円

Eファイル、Fファイル(イメージ)

<Eファイル>

E-5	E-6	E-8	E-9	E-10	E-11	E-12	E-13	E-14	E-15	E-18
データ区分	順序番号	レセプト電算処	解釈番号	診療行為名称	行為点数	行為薬剤	行為材料	円・点区分	行為回数	実施年月日

60	0013	160017410	D0071	TP	129	0	0	0	1	20080707
----	------	-----------	-------	----	-----	---	---	---	---	----------

Eファイルではダミーコード不可
Fファイルの行為コードをセットする。行為がない場合は薬、材料コードをセットする。

実施した明細
行為を全て書き出す

60	0014	160008010	D0056	末梢血液一般	22	0	0	0	1	20080704
60	0015	160008210	D0055	像	18	0	0	0	1	20080704
60	0016	160054710	D0152	CRP(定量)	16	0	0	0	1	20080704

60	0017	160017410	D0071	TP	109	0	0	0	1	20080704
----	------	-----------	-------	----	-----	---	---	---	---	----------

60	0018	160060010	D101	病理組織標本作製(1190	0	0	0	1	20080703
----	------	-----------	------	-----------	------	---	---	---	---	----------

60	0019	160155110	D104	病理診断料	410	0	0	0	1	20080703
60	0020	160008010	D0056	末梢血液一般	22	0	0	0	1	20080702
60	0021	160008210	D0055	像	18	0	0	0	1	20080702
60	0022	160054710	D0152	CRP(定量)	16	0	0	0	1	20080702

<Fファイル>

F-5	F-6	F-7	F-9	F-10	F-11	F-12
データ区分	順序番号	行為明細	レセプト電算コ	解釈番号	診療明細名称	使用量

60	0013	001	810000000	Null	生化学的検査① (10項目以上)	0
60	0013	002	160017410	D0071	TP	0
60	0013	003	160019010	D0071	BUN	0
60	0013	004	160019210	D0071	クレアチニン	0
60	0013	005	160019510	D0072	LDH	0
60	0013	006	160021110	D0071	Na及びCl	0
60	0013	007	160021410	D0071	K	0
60	0013	008	160021510	D0071	Ca	0
60	0013	009	160022210	D0071	Mg	0
60	0013	010	160021810	D0075	P及びHPO4	0
60	0013	011	160022510	D0075	GOT	0
60	0013	012	160022610	D0075	GPT	0

60	0014	001	160008010	D0056	末梢血液一般	0
60	0015	001	160008210	D0055	像	0
60	0016	001	160054710	D0152	CRP(定量)	0

60	0017	001	810000000	Null	生化学的検査① (8項目又は9項目)	0
60	0017	002	160017410	D0071	TP	0
60	0017	003	160019010	D0071	BUN	0
60	0017	004	160019210	D0071	クレアチニン	0
60	0017	005	160022510	D0075	GOT	0
60	0017	006	160022610	D0075	GPT	0
60	0017	007	160021110	D0071	Na及びCl	0
60	0017	008	160021410	D0071	K	0
60	0017	009	160019510	D0072	LDH	0
60	0017	010	160019410	D0072	グルコース	0

60	0018	001	160060010	D101	病理組織標本作製(1臓器につき)	0
60	0018	002	160098210	D414	内視鏡下生検法	1

60	0019	001	160155110	D104	病理診断料	0
60	0020	001	160008010	D0056	末梢血液一般	0
60	0021	001	160008210	D0055	像	0
60	0022	001	160054710	D0152	CRP(定量)	0

DPCデータをもとに診療プロセスが分析できる

例： 80代女性、両側内頸動脈狭窄症
入院時JCS 0、救急搬送なし、自宅退院

